

ひゅーまん ネットわーく

地域に生きる

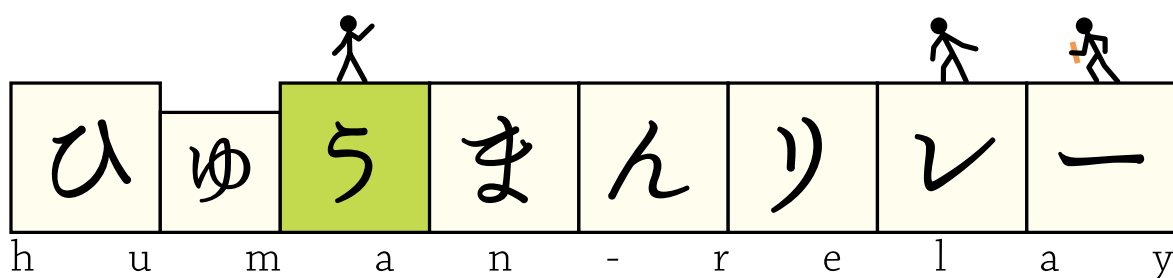
2015年 10月 発行／第63号

社会福祉法人北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



「LaLa-chocolat(ララ ショコラ) TAKATSUKI」プレオープンの様子



株式会社ビーンズ 代表取締役 ^{さかの たくみ} 坂野拓海さんより

● Hello, Universe.

福祉は一般に高齢者、障がい者など「ハンディキャップをもつ人を支援するため」にあるとされています。でも、果たして福祉が存在する理由はそれだけなのでしょうか？私は、福祉は利用者が自分らしく生きるためにあるのと同時に、私たち健常者と呼ばれる人々が、様々な立場、個性、カルチャーと出会うための玄関としての役割もあるのではないかと思います。

実際、私自身、福祉との出会いが無ければ障がい者の方と出会うことも無かったと思います。福祉と出会ったことで私の価値観は広がり、障がいをもつ方とのコミュニケーションや、つきあいを面白いと感じて、多くの人にそれを体験して欲しいという思いから2011年にビーンズという会社を設立し「Hello, Universe.」という理念を掲げ障がいをもつ人と、一般の人がフラットに出会いコミュニケーションを学ぶ場を生み出すための活動を行っています。

● 障がい者との出会い、そして、起業

私は、現在のビーンズという会社を設立する前に、企業経営のコンサルタントという立場で民間企業の障がい者採用に関わっていました。

大きな企業になると、全従業員に対してある割合で障がい者の雇用が義務づけられる法定雇用制度があります。会社は制度に従い雇用を進めて行くのですが、実際に障がい者の方が現場に配属にされると一緒に働く現場社員も、はじめての事で戸惑い、コミュニケーションのとり方が分からないために、有効なサポートもできず結果的にうまくいかず退職するという事が少なくありませんでした。

はじめて障がい者と接する人の多くは「不安だ」と言います。どうコミュニケーションをとっていいか分からないからです。「不安」というのは感情です。感情を変えるには言葉ではなく体験をするしかない。

そう考え、私は障がい者の働く場所の前に、まず障がい者と気軽に会える場をつくろう。そう考えて会社員を辞め、2011年に株式会社ビーンズを設立しました。

● 障がい者とのコミュニケーションを学ぶ場をつくる

ビーンズでは現在、” Universal Collaboration” というサービスを提供しています。

これは、障がいに起因して1人で外出できない方と、土日など休みの日を有効に使いたい一般の社会人や学生と一緒に遊ぶ企画を立てるところからスタートし、アート、音楽、スポーツなど様々なチームでの遊びを行うものです。

大きな特徴として、まず1つが移動支援制度を活用したこと。障がいをもつ参加者は制度として無料で利用でき、一般の人はヘルパーのアルバイトとしてボランティアではなく仕事として参加できること。お互いの参加の敷居を下げることで継続的に参加する人を増やすことが出来ました。

もうひとつの特徴はCollaborationの名前の通り積極的に、企業や大学、他団体とコラボすることで、企画のコンテンツや使える場所を増すことができ、時には研修や授業の一環として学生や会社員もスタッフとして参加してくれるようになりました。

最初は小さな活動だった物が広がり、今では毎週末、祝日毎に開催し、1回の参加者も多い時で50人を越えるようになりました。スポーツだとバスケット、フットサル、ヨガ、ユニカール（ユニバーサル・カーリング：専用カーペットの上でプラスチックのストーンを滑らせるスポーツ）などの教室、音楽ではフェスの開催、アートだと書道、絵画、工作など様々なジャンルのコンテンツが揃うようになりました。

● 楽しいから参加する！

こうした活動は障がい者支援という枠を越え「楽しいから参加する！」という人がどんどん増えてきま

した。私たちにとって一番嬉しいことは、参加した人が「福祉ってこんなに楽しいんだ!」「みんな個性的で楽しい!」と言ってくれることです。

障がい者と初めて接し不安を感じている人も、おおぜいの楽しい雰囲気の中なら、徐々に慣れていきコミュニケーションの取り方や障がい毎の特徴を自然と理解していきます。そして彼らにポジティブな気持ちをもてくれる。

こうしたポジティブな経験をもった人を増やすことで社会参加を目指す障がい者の人にとって頼れる相手が増えていく。実際に企業人事の方も体験に来てくれるので効果はあると思います。

● 気軽に出会える場所を増やす。

私もそうですが、大多数の人は小中学生の時にあった福祉学級くらいでしか障がい者との接点が無かったと思います。社会に出てから障がい者とのコミュニケーションを学べる場所が圧倒的に少ないのです。だからビーンズはHello, Universe. という理念の場所、そうした機会をこれからもたくさんつくっていくことを目指しています。今は特定の場所を持っておらず休日が中心の活動ですが、来年はオープンでUniversalな就労継続や児童デイの施設型サービスもつくり、常設で障がい者と出会える場所をふやしていくつもりです。

地域における包括的支援体制の構築をめざして ～地域連携を考えて～



地域貢献、地域に愛されるお店をめざして

たんぽぽ十三店

なかもと のぼる
店長 中 元 昇 さんより

自分自身、北摂杉の子会ジョブサイトよどさんがどのような活動をしているのかまったく知りませんでしたが、つくねを作っていただくことになり、いろんな視野が広がりました。初めは、本当に出来るのかなと疑問に思っていました。でもジョブサイトよどさんに訪問に行かせていただき自分が思っていたイメージとはちがいに驚くことばかりでした。まず厨房を見た時に整理整頓が徹底しており、一人一人の製造工程を明確にしていたり作業効率のよさを肌で感じました。みなさんの作業を見て、玉ねぎのみじん切や食材を計るときの正確さやつくねを作るときの50～60gの量や長さを測る正確な作業には驚きました。初心の気持ちを持って仕事に取り込むことの大切さを思いだしました。月曜日から金曜日までお店に配達していただき、少しずつコミュニケーションもとれたり、みなさんと会えるのが毎日楽しみになっております。一番大変なのが雨の日の配達だと思います。それでも、元気な「つくねをお持ちしました」という声に逆に自分達も元気をいただき営業に臨むことが出来ます。本当にありがとうございます。

いつもお客様から嬉しい言葉をいただきます。

「ここのつくねは、いつ食べても美味しい」と言っただけです。



つくね

株式会社 蒲公英 (たんぽぽ) の経営理念 5つの感謝

- ◆お客様に感謝
- ◆従業員さんに感謝
- ◆取引業者さんに感謝
- ◆家族に感謝
- ◆自分に感謝

すべては、お客様の感動のために、私たちはホスピタリティー（思いやり、おもてなし）の精神を追求しイノベーションし続けます。

これからも、地域貢献、地域に愛されるお店作りに、取り組んでいきます。ジョブサイトよどさんと出会えたことに、感謝しております。



従業員の皆さん

たんぽぽ十三店【40席】 06-6885-2277



大阪市淀川区十三東
2-9-2
阪急線十三駅東口すぐ！
年中無休
17:30～翌2:30
(ラストオーダー2:00)
<http://r.gnavi.co.jp/k737807/>

どなたにも楽しんでいただけるをめざして



中国観光株式会社

営業企画 担当 ^さ酒 ^い井 ^{ひろ}弘 ^き樹 さんより

弊社は昭和53年の創業時から学校行事関連の観光バス手配や、PTA、自治会、子ども会などの団体旅行を主に取り扱いしております。

その関係からの紹介をうけ、約30年も前になりますが、知的障がい者福祉事業所のご旅行を初めて取り扱うことになりました。私自身、知識も全く持ち合わせていなく、知的障がいをお持ちの方々のご旅行をどう企画すればよいかとても不安でした。

スタッフの方々と打ち合わせを重ね、当日は添乗員として一緒いたしました。今でも印象に残っているのは、純粹に楽しんでいる姿です。また自分自身も楽しむことの大切さを改めて感じることができました。

その時に思ったことは『普通で良い』でした。気を付けなければならない点は当然ありますが、基本的な考え方はこれでいいと思っています。しかし、『普通で良い』という考え方を成立するために、私たちの見えないところで計り知れないスタッフの皆さんの心遣いやご苦労があることを忘れてはいけないと思っております。当時はホテルや各施設も受入の理解をして頂けないケースも多くあり、悔しい思いをしたことが記憶にのこっております。近年は観光産

業の受入施設も勉強会を開いたり、積極的に受け入れてくれるホテルも多くなりました。

萩の杜様とは10年以上のお付き合いを頂いており深く感謝申し上げます。

ご旅行のご相談を頂き、企画立案するにあたって、まず念頭に置くのは皆さんの『楽しんでいる姿を想像すること。』形ある商品を販売するのとは違い、形なき物を提供するのが難しいところですので、スタッフの皆さんにご信頼頂くことが大切だと感じております。

旅行担当スタッフさんの要望の本質を素早く理解し、個々の受け入れ先へリクエストしプランニングをする。これをしっかり守りながら『楽しく、わくわく』した旅を提供し、日常生活から少し離れ『新しい発見や経験』『自意識のちょっとした変化』ができれば良いなと思っております。

私どもの一番のほめ言葉は旅の道中に自然にでる言葉『これおいしいね』『楽しいね』などの何気ない一言なんです。そんな言葉がメンバーさんから自然とでるような旅行を企画できるように勉強していきたいと思えます。

「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) TAKATSUKI」開設のご報告



ジョブサイトひむろ

管理者・介護福祉士 ^{もり}森 ^た田 ^{こう}耕 ^{へい}平

平成27年10月21日、阪急高槻市駅前にチョコレートと焼き菓子のお店、「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) TAKATSUKI」がオープンいたしました。「障がい者を一流のショコラティエに!」をキャッチフレーズとした日本財団「全国夢のチョコレートプロジェクト」の大阪地区の製造販売の拠点として開設すると同時に、平成23年4月よりぷれいすBeで製造してまいりましたガレットの設備も移設し、焼き菓子の製造販売も行います。



現在、大阪府の就労継続支援B型事業所の平均工賃支給額は、全国で最も低い水準です。高槻市においてはそれをさらに下回り、ご利用者、特に障がい基礎年金が2級（月額約65,000円）の方がグループホーム等を利用して地域の中で自立した社会生活を営むにはほど遠い金額となっております。



ります。そのため、法人ではここ数年来、「障がいのある人にとってやりがいのある、その対価として高い工賃が支払える事業」の創造をミッションとし、若手職員を中心に模索してまいりました。その結果、十三地区で先行して実施している「ポップコーン事業」と今回の「チョコレート事業」が候補にありました。

チョコレートの製造販売において、一番の課題は良質な材料の確保です。今回のプロジェクトへの参加は、プロジェクトのシェフショコラティエである野口和男氏から商品開発等の技術指導だけでなく、良質な材料の提供も約束されています。プロジェクトのオリジナルブランドである「久遠チョコレート」の多彩な商品ラインナップと、「LaLa-chocolat TAKATSUKI」独自の商品も販売いたします。また、今後は高槻市の特産品とチョコレートを組み合わせた商品展開も考えております。チョコレート+焼き菓子の組み合わせが、ご利用者のやりがいや高い工賃の支給に寄与するだけでなく、皆さまにより上質な商品を提供できるものと考えております。



10月以降、「LaLa-chocolat TAKATSUKI」は
ジョブサイトひむろの就労継続支援B型事業所とし
て運営を同じくいたしますが、平成28年4月からは
定員を20名に増加し、単独の事業所として立ち上

げる予定です。

今後とも皆さまのご支援ご協力を賜りますとと
もに、お近くにお越しの折には是非とも「LaLa-
chocolat TAKATSUKI」に足をお運びください。



「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) TAKATSUKI」
就労継続支援B型
〒569-0091 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL 072-668-5055 FAX 072-668-5081
営業時間：10:00～19:00（日、祝休み）

■三つ折りチラシ

手間を惜しまず、妥協せず
じっくり時間をかけて作り上げた
上質かつ多彩なチョコレートをお届けします。

1

金針な味を兼ねない
ビュッスリッな
チョコレート

2

市面上下20度以内の
様々な産地のカカオを
商品ごとにセレクト

3

地域と食材の
特徴を活かした
レシピ

チョコレート本来の味を楽しみ、
ではいかに、豊かな味わいを実現し、
チョコレートにこだわります。

平均気温25℃以上、湿度80%
以上の気候で、おいしい
カカオを育みます。

天産チョコレートとフレッシュ
フルーツやハーブを組み合わせ、
オリジナルのデザート。

地元・高槻に
おいしい笑顔をお届けたい

チョコレートのおいしいの秘訣は、品質管理と
生産プロセスの徹底にあります。高槻市産カカオ
など、ララショコラでは、自分たちがショコラ
パティシエとなり、ひとつひとつ丁寧に、上質な
チョコレート、焼き菓子作りに取り組んでいます。

阪急 高槻市駅

徒歩1分

〒569-0091 高槻市城北町2丁目13番2号

TEL: 072-668-5055

FAX: 072-668-5081

LaLa-chocolat

LaLa-chocolat
SINCE 2015 / TAKATSUKI
by 久遠

サブレマンディアン
サクサクした食感のサブレと
チョコレートがベストマッチ。
軽い食感を活かして、トッピ
ングのナッツやフルーツを
あっさりとはりつけました。

三日月マンディアン
歯ごたえや歯ごたえの心臓を
噛みしめるの快感を味わうと
わかる三日月に似ているので、
チョコレートに、特に優しい
の風味を合わせました。

ポンポンマンディアン
歯ごたえや歯ごたえの心臓を
噛みしめるの快感を味わうと
わかる三日月に似ているので、
チョコレートに、特に優しい
の風味を合わせました。

ロリポップ
カカオの風味を堪能できる
ララショコラマンディアン
チョコレートと、様々な
フルーツやハーブを組み合わせ、
オリジナルのデザート。

グラボップ
チョコレートでコーティング
したポップコーンを、グラ
ボップにアレンジ。ナッツやフ
ルーツがたっぷり入った、フ
ラベットのほかに、フレー
ズと「LaLa」フレーバー。

クワンタブレット
上質なカカオの味と、なめらかな
口どけを実現したシフォンな
チョコレート。定番の「LaLa」
フレーズと「LaLa」フレーバー。

第2回 北摂杉の子会研修セミナー 報告

知的障がいのある人たちの 高齢化の課題と暮らしの支援を考える

平成27年7月28日に高槻市生涯学習センター・多目的ホールで、第2回北摂杉の子会研修セミナーを開催しました。当日は近畿圏からはもちろんのこと、北海道から九州まで全国各地から284人の方々に越えいただきました。職種別では、福祉職員の方が7割強で、経験年数では10年以上の方が半数近くを占めており、今回のテーマが、経験のある現場職員や管理者にとって関心の高いものであったことが伺えます。

セミナーの構成は、午前中に、知的障がい者の高齢化研究の第一人者である志賀利一氏による基調講演。午後は高齢化した知的障がい者の支援や環境調整、地域生活を支える仕組み・制度などについてシンポジウムを行いました。コーディネーターとしては当法人の常務理事の松上が、シンポジストとしては国に対して様々な政策提言をしてきているNPO法人全国地域生活支援ネットワークの福島龍三郎氏、水流源彦氏をお迎えし、当法人医療連携推進室の小林が加わりました。

基調講演では「50歳からの支援」として、①高

齢知的障がい者の身体的・精神的・社会的な状態像の変化、②高齢知的障がい者の生活場所（入所施設、グループホーム、高齢者施設、自宅等）、③高齢になり気になること・心配なこと（病気のかかりやすさ、飲み込みにくさ、骨粗鬆症、認知症、介護保険や成年後見制度利用の課題）が最新の調査から、具体的に語られました。そして、長い期間を見据えたケースマネジメントと自らの人生の軌跡を振り返ること（回想）ができる工夫が必要であると結びました。

シンポジウムでは、まず、水流氏が社会福祉法人ゆうかりでの「地域での生活を支えるための事業」（子どもからお年寄り、そして知的障がいのある人たちが同じスペースで過ごし交流するもの）を紹介。また、鹿児島市で推進している「地域生活支援拠点」整備事業もご紹介いただきました。これは、グループホームやショートステイ、生活介護、居宅介護、相談支援等を複合的に行うことで、日常の地域生活のバックアップや夜間や緊急時の対応ができ、地域交流の拠点となり、障がい者の高齢・重度化や「親亡き後」をも見据えたものです。

次に福島氏は、知的障がい者の在宅率の高さに着目し、グループホームの設置促進や地域生活支援拠点整備、地域のセーフティネットづくりについて具体事例を挙げて説明。NPO法人ライフサポートはるでの重度・高齢対応グループホームの整備やショートステイでの緊急時支援等の拠点構想も語られました。



第2回 北摂杉の子会研修セミナーの様子

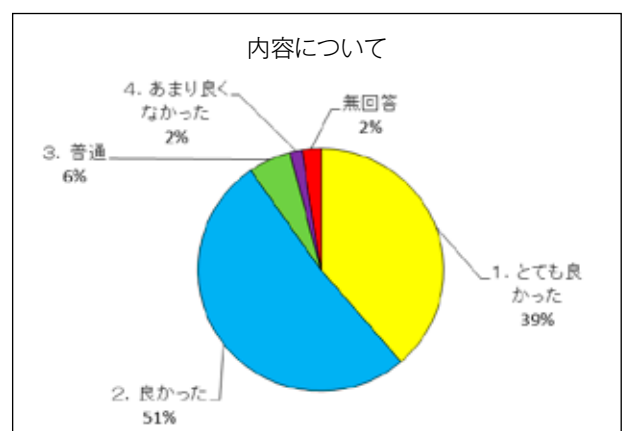
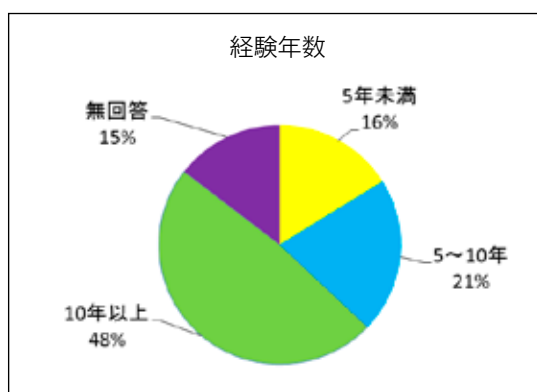
最後に小林が、当法人で取り組んできた重度高齢化対策プロジェクトと今後の取り組みについて説明しました。

これらの話題を受けて、会場からの質問に応える形で「地域生活拠点」や「介護保険との併用利用」「在宅支援」「医療との連携」「意思決定支援」等、多岐に渡る議論がなされました。途中、知的障がいのある高齢者の支援の第一人者である社会福祉法人侑愛会の祐川暢生氏に飛び入り参加していただき、侑愛荘での支援と想いを伺うこ

とができました。

アンケートの結果では9割を超える方が「とても良かった」「良かった」と回答しており、充実した研修セミナーになりました。

最後になりましたが、ご参加いただいた多くの方々にこの紙面をおかりしまして、お礼申し上げます。貴重なお時間を割いてご記入いただいたアンケートも大変参考になるものでした。来年度以降もこの研修セミナーを継続して開催したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします



■ 講演について ～ご感想・ご意見～ (抜粋)

課題がまだたくさんあり、親としては不安が一杯ですが、親も声をあげて、しっかりした“しくみ”を構築して少しでも安心して子どもを残せたらと切に思いました。

あー、わかるわかる!と思うことしきりでした。ご家族にも施設は終のすみかという思いが強くあり、ご本人の思いがよくわからないまま高齢化を迎える場合どう付きあっていけばいいか、とても悩んでいます。ケアマネさん・地域包括さんと連携することを考えていきたいと思います。

幅広い気づきが出来ました。本当に勉強になりました。“ギアチェンジ”自分も意識しないと出来ないと思いました。

志賀さんのお話は参考になりました。高齢化について分かっていたつもりですがより明確化できました。

医療との連携を切に感じている日々なので医療連携や入院対策がしっかり動いていることがすばらしいなあと考えた。

高齢知的障がい者の課題について広い視野でのお話が聞けてよかったです。また個別に具体的な対応も聞くことができたので住んでいる市でとり入れたいと思います。

支援するという立場で、ルールに乗っかった支援ばかりでなく、その人の特性や何を望んでいるのか等、ちょっとした気づきが出きる信頼関係が大切だなと思いました。

直接支援のみならず、制度、資源利用など、知る・学ぶ・気づく機会を多くいただいた。相談員として取りくみたいこと、働く地域でつくりたい自立支援協議会のあり方など、考える・インプットする機会でした。知的障がいかつ高齢（認知の疑い）のある方のケース会議で早速活かしていきたい。

都市部とそうではない地域での障がい者福祉の比較ができた事とテーマが現在の課題にマッチングしていたので参考になった。

高齢については、行政から事業所、本人、家族が障害福祉と介護保険を知り、サービスとしての視点をもってどう生活を成り立たせるかを、サービスをコーディネートしていくことが重要であると思いました。

質問への一問一答は、リアルタイムで相談したい内容で、自分自身も同じ疑問があったのでよかったです。

ポスティングの取り組みについて



ジョブサイトひむろ

精神保健福祉士・社会福祉士・介護福祉士 高木 由香利

■ ポスティングの概要

ジョブサイトひむろは、生活介護事業と就労継続支援B型事業を行っております。

生活介護は、クリーニングや陶芸作業、さまざまな受注作業を受託しており、就労B型は、受注作業と特別養護老人ホームのクリーニング、入所施設の清掃を行っており、その1つにポスティングがあります。

ポスティングの仕事は、平成25年11月から受託しました。ポスティングとは、その地域の情報などが掲載されたチラシを各ご家庭に配布するお仕事です。

月曜日と木曜日にチラシ折りと帳合を行い、火曜日と金曜日に配布しています。配布件数が340件と多かったため、エリアを2分割し、生活介護1グループと就労継続支援B型1グループで実施することとなりました。

■ 取り組んできたこと

①配布ルートの見直し

以前は、複雑なルートであったためスタッフが覚えるのも難しい状況でした。ルート見直しのため、スタッフが新たなルートを開拓しました。そのことで、ご利用者がルートを覚えられ、スタッフの声掛けが、かなり減少し、チラシをスムーズに配布できるようになり時間の短縮にも繋がりました。

②チラシ配布用カバンの作成

両手が空くように、斜め掛けのカバンを作成しました。100円均一で売っているA4サイズのカゴに、ひもをつけただけのものです。両手が空くことにより、

ご自身でポストの差し入れ口を開け、チラシを入れられるようになり、自立して配布することが可能になりました。また、カゴが透明なため、配布するチラシが残りどのぐらあるのかも目で見て分かりやすくなりました。



ご利用者からは「配りやすくなった」や「郵便配達の人が使っているやつみたい」との声があり、喜んでくださいました。

■ 配布エリア拡大

昨年11月から、事業所周辺エリアのポスティングも受託することになりました。

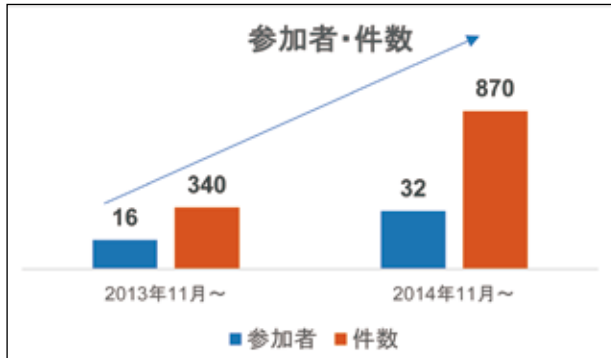
件数は、530件と多く、今までのように就労継続支援B型と生活介護の2グループのみでは実施できなくなったため、ポスティングに携わっていただくグループを増やし、これまで、取り組んできたことを活かすことで、新たなエリアでもスムーズにポスティングを実施することができました。

①配布エリアを3分割

エリアを区切ることにより、配布範囲が狭まり、ご利用者が見通しを持ってポスティングができることにより、障がいの重いご利用者が多く携われるようになりました。

②配布ルートの開拓

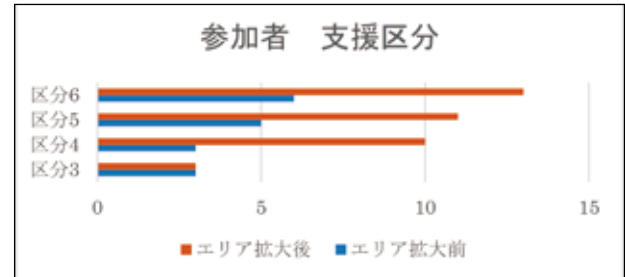
分かりやすく、最短時間で配布できるルートを開拓したことにより、スムーズにポスティングできるようになりました。



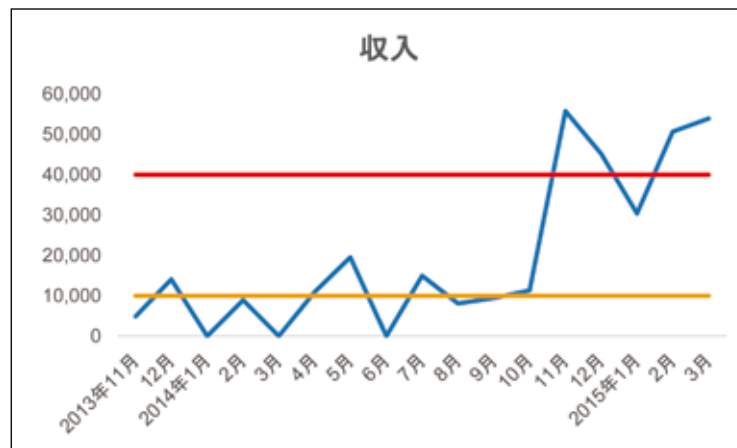
件数は、340件から870件となり、ポスティングの参加者も、16名から32名に倍増しています。

③配布するグループを固定

エリアごとに、配布するグループを固定することにより、ご利用者がルートを知ることができ、スタッフの声掛け等の支援が減少し、自立して取り組んでいただけることに繋がりました。



エリアを拡大できたことにより、参加者も増加し、障がいの重いご利用者の参加数が倍増しています。



エリアを拡大する前は、月1万円ほどの収入だったのが、エリア拡大後は約4万円になっています。

■ 成果

エリア拡大に伴い、チラシ折りや帳合の作業も増えたため、ご利用者の60%がポスティング業務に携わるようになってきました。また、事業所周辺のエリアに配布することになったことと、エリア拡大前に見直したことをエリア拡大後に活かすことができ、障がいの重いご利用者も多く携われるようになりました。

ポスティングは、外で行う仕事であるため、ご利用者が室内にて仕事を継続することが難しくなった場合でも、場面が切り替わることで、気持ちの切り替えとなり、集中して取り組むことができています。また、チラシを斜め掛けのカバンに入れることで、残りのチラシが見え視覚的に終わりが分かるため、安定して最後まで取り組むことができています。

チラシを配布していると、地域の方から「ごろうさん」「ありがとう」と声をかけていただき、ご利用者も「こんにちは」と挨拶され、地域の方とふれあうことが、喜びとなり、ポスティングが楽しみになっています。

地図のルート開拓により、ルートを覚えられたことで、支援者の声掛け等の支援が減ったことや、カバンを作成したことで、ご利用者が自立してチラシを配布できるようになったことなど、プラスの効果となりました。少しの気づきと工夫を積み重ねていくことにより、成果に繋がることを実感しました。今後も、より多くのご利用者が生産活動に携われるよう取り組んでいきます。

皆に支えられて、一人暮らし(^-^)

おお がみ かず こ
大 神 和 子 さん

大神和子さんは、筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の方で、本誌40号（平成22年1月号）のひゅーまんリレーに投稿いただきました。現在は下関に居を移され、入院生活から地域生活へ移行されています。

今回は特別寄稿として、その後の大神さんの暮らしについて原稿を頂戴しました。

私は、福岡県生まれです。小児喘息が酷く、内弁慶でした。

45歳の時、大学病院で筋萎縮性側索硬化症（ALS）の告知を受けました。告知を受けた時は、とても辛く、死にたいと思っていました。

私の兄は、20歳という若さで亡くなりましたが、亡き父がその時に泣いていた姿を思い出し、死ぬ事を思いとどまりました。そして、母を悲しませない為にも、生きる決意をしました。

告知を受けてから、1年半は在宅で生活していましたが、それからは長期入院生活の始まりでした。入院生活は、私の思った生活ではありませんでした。

「意思伝達装置（伝の心）に、Windows操作を入れて下さい」と、頼みました。

業者には、「ALSだから、ホームページやメールの観覧だけで、Windows操作は覚える必要はない」と言われました。

また、他の支援者からは、家に戻りたいと何度も頼んだのにALSだから介護力も無く出来ないと差別され、私はとても悔しくて、絶対に負けなと思いました。施設も、駄目でした。

52歳の時、北海道のALS患者Hさんから、次に原稿を書く人を、日本ALS協会理事のYさんに

相談しました。Yさんが、ALSメーリングリストにある私の投稿を見て原稿依頼が回って来ました。北摂杉の子会からの原稿でした。縁ですね。

Yさんから、全国障害者介護保障協議会のXさんとCIL（自立生活センター）Kさんを紹介して貰いました。

そして、XさんとKさんから独居を教わりました。

周りは誰も気管切開したALS患者が、独り暮らし出来るとは思わず、特に在宅医が見つからず難航しました。

私は、支援の受けやすい下関に引っ越しして、53歳で独居に成功しました。

在宅生活を始めた当時は在宅酸素だけで、人工呼吸器はつけず独居をスタートしましたが、数日後に、呼吸が苦しくなり病院に入院して人工呼吸器を装着しました。

その後、体調は安定し退院後は福岡県の母の居る施設に2回会いに行きました。

しかし、母は残念ながらその年の大晦日に亡くなってしまいました。

55歳の8月14日に、意識不明で救急車で搬送されました。気管切開しているから、口から喘息吸入薬を入れていましたが、それが肺まで届いて無い事が判明。呼吸器から、吸入薬入れる方法

教わりました。退院して、酸素を外しました。今までは、外出や外泊するときは、酸素ボンベを持ち運んでいました。呼吸器回路は、3本回路から1本回路に変えたので介助者の負担が軽くなりました。重度訪問で24時間介助者が居て生活が成り立っています。

現在、57歳で地域にて普通に暮らせて感謝です。1日の生活を話します。

朝6時50分、目覚まし時計で起床。胃瘻開放や顔拭きやバイタルや口腔ケアしてから、ヨーグルト朝食等を頼みます。喘息吸入薬、意思伝達装置（パソコン）オペナビ出来るようにセットを頼みます。9時に介助者交代。10時半、気切ガーゼ交換。12時、胃瘻開放して、ラコールやトマトジュースの昼食。18時半、胃瘻開放してからラコールや味噌汁や青汁の夕食。20時半、喘息吸入薬やバイタ

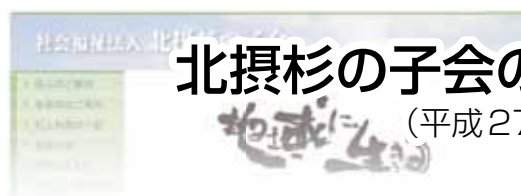
ルや気切ガーゼ交換。22時40分、投薬等。23時就眠。

訪問看護師、週3回。往診医、月2回。訪問リハビリ、週3回。訪問入浴、週2回。訪問歯科、月2回あります。外出して、買い物では値切ります。私は、普段「口文字」で話してます。介助者が困った顔をして、店員に伝えてます。

ALS交流会や他のCILの勉強会等に参加します。介助者が居れば、普通に暮らせます。

介助者やリハビリスタッフに、口文字で歳や恋人が居るか聞いてます。口文字は、ネットで「ALS患者大神の口文字盤」検索してね。最近、Windowsムービーでマイムービー作れて楽しいです。支援者の皆様に、感謝です。ありがとうございます。





北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成27年6月～平成27年8月)

北摂杉の子会のホームページ (<http://www.suginokokai.com>) では、様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。

過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。

ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。

ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスしてください！

掲載ページ	内 容
各施設のご案内	サポートセンターPASSO 施設見学会のお知らせ
	ジョブジョイントおおさか見学会のご案内 2015年度「下半期版」掲載
	児童発達支援部 事業所説明会のお知らせ an/will/Link
	研修相談支援室・サポートセンターPASSOの事業内容を変更
お知らせ	「世界自閉症啓発デー2015・シンポジウム」に当法人常務理事・松上利男が指定発言者として参加
	児童発達支援事業所新聞6月号 an新聞 will新聞 Link新聞 PASSO新聞 掲載
イベント・講座案内	第2回 北摂杉の子会研修セミナー 開催 ～ 知的障がいのある人たちの高齢化の課題と暮らしの支援を考える ～
後援会	後援会情報 更新
よどのコロッセ	イベント販売＆お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
	Café Be ミュージック・ディ情報更新



掲示板コーナー

(平成27年6月から平成27年8月まで)

法人本部総務部掲示板

6月	行 事
1・3・5日	採用応募者施設見学会
8日	経営会議
11・25日	運営会議
12日	医療連携推進室会議
15日	自閉症啓発デー実行委員会
16日	虐待防止委員会
16・29日	法人採用説明会（法人本部会議室）
19日	帝塚山学院大学 学内説明会 参加
23日	新入職者研修
24日	関西学院大学 学内説明会 参加 総務管理会議
21・28日	法人採用筆記試験（高槻現代劇場 306号室）
25・26日	法人採用一次面接（法人本部会議室）

7月	行 事
1日	経営会議
2日	法人採用二次面接（法人本部会議室）
10日	医療連携推進室会議
9・16・30日	法人採用説明会（法人本部会議室）
10日	龍谷大学 ボランティア募集团体合同説明会 参加
18日	福祉の就職総合フェア 参加
23日	運営会議
25日	平成27年度 第2回法人研修 （高槻現代劇場 305号室） ・「職場のコミュニケーション力」 株式会社エンカレッジ代表取締役 窪 貴志 氏 ・「職場のコミュニケーション力」に関する窪氏 と職員との対談 ・グループワーク「職場のコミュニケーション 力」について

28日	第2回北摂杉の子会研修セミナー （高槻市立生涯学習センター 多目的ホール） 知的障がいのある人たちの 高齢化の課題と暮らしの支援を考える 講演『50歳からの支援』 国立のぞみの園 研究部長 志賀 利一氏 シンポジウム 『知的障がいがある高齢者支援の実践』 報告① 当法人 医療連携推進室長 作業療法士 小林 哲理 報告② NPO 法人全国地域生活支援ネット ワーク理事 社会福祉法人ゆうかり 理事長（鹿児島県）水流 源彦 氏 報告③ NPO 法人全国地域生活支援ネット ワーク監事 NPO 法人ライフサポート はる理事長（佐賀県）福島 龍三郎 氏 討論『知的障がい者の高齢化支援 ～これからのかたち』 シンポジスト：志賀氏、水流氏、福島氏、小林 司会・進行：当法人 常務理事 松上 利男
29日	総務管理会議

8月	行 事
3日	経営会議
4日	虐待防止委員会
5・27日	法人採用説明会（法人本部会議室）
7日	医療連携推進室会議
11日	藍野大学 学内説明会 参加
25日	新入職者研修
26日	総務管理会議
28日	運営会議

(河辺 記)

第2回北摂杉の子会研修セミナー



シンポジストの水流源彦氏と福島龍三郎氏



志賀 利一氏の講演

萩の杜 掲示板

萩の杜 日帰り旅行

萩の杜ではさまざまな余暇支援に取り組んでいますが、今回は日帰り旅行のご紹介をしたいと思います。

日帰り旅行はご利用者やご家族のニーズを踏まえ、毎年の旅行の様子を振り替りながら行き先を決めています。また、個々のスケジュールや旅のしおりを作成したり、事前に旅先での約束事を確認したりしながら、ご利用者が旅行を安心して楽しむことができるように取り組んでいます。

旅行の様子（旅の写真の一部です）



日 時：2015 年 5 月 28 日
行き先：USJ



日 時：2015 年 6 月 16 日
行き先：京都鞍馬山



日 時：2015 年 7 月 2 日
行き先：名古屋



日 時：2015 年 7 月 21 日
行き先：キャンプ（宇治市）

支援の工夫



出発前にスケジュールを確認



【旅のしおり】
スケジュールや旅先の地図などをまとめています

氏名	性別	年齢	備考
利用者			
家族			
支援者			
その他			

【旅行の報告書の書式】
ご利用者ごに行き先や支援ツールなど、個々の評価をまとめています

（山根 記）

ジョブサイトひむろ掲示板

食欲の秋、スポーツの秋の季節ですね。
ジョブサイトひむろでは、日頃の活動として主に
BMI25以上の方を対象に、個々人に合わせた運
動プログラムを実施しております。継続すること
で、体重・腹囲が少しずつ成果として減少して

いる方もおられます。
継続は力なり!皆さん、頑張って取り
組まれている様子を一部ご紹介いた
します。



ウォーキングマシン



エアロバイク



バランスボール



足の筋のばし

地域のイベントへの参加、レクリエーションの様子をご紹介します。
皆さん、それぞれの活動を楽しまれています!

枚方パーク

6月4日



京都水族館

6月11日



障がい者啓発ディ

ビラ配り 6月12日



びっくりドンキー

6月25日



希志庵&ハニワ工場公園

7月2日



スポッチャ 7月8日



(古東 記)

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

6月	行	事
1日	平成27年度 第1回発達障がい児者支援体制整備検討部会 第3回 大阪府障がい者自立支援協議会発達障がい児者支援体制整備検討部会 こどもワーキンググループ乳幼児健診検討ワーキングチーム ペアレント・メンター事業打ち合わせ (鳴門教育大学大学院 准教授 小倉正義 氏)	
5～6日	発達障害者支援センター 全国連絡協議会	
6日	NHKハートフォーラム	
12日	岡山県発達障害者支援センター訪問 (事業について情報交換)	
19日	大阪府発達障害団体ネットワーク (1回目)	
20日	TEACCHプログラム研究会 月例会	
24日	ペアレント・メンター運営委員会 (1回目)	
29日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 パオミのお訪問 (事前打ち合わせ)	

7月	行	事
2日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 泉大津市 健康福祉部障がい福祉課訪問 (事前打ち合わせ)	
3日	ペアレント・トレーニングインストラクター養成研修 (1クール1日目) 講師:畿央大学 教授 小野 尚香 氏 准教授 古川 恵美 氏	
6日	講師派遣:オアシス・ジョブサイトよど家族会 勉強会	
10日	ペアレント・トレーニングインストラクター養成研修 (2クール1日目) 講師:畿央大学 教授 小野 尚香 氏 准教授 古川 恵美 氏	
12日	ペアレント・メンター啓発講座 講師:鳴門教育大学 准教授 小倉 正義 氏	
13日	ペアレント・トレーニングインストラクター養成研修 (1クール2日目)	
17日	ペアレント・メンター事業打ち合わせ (大阪府 地域生活支援課 発達障がい児者支援グループ)	
18日	TEACCHプログラム研究会 月例会	
20日	ペアレント・メンター養成研修 (ベーシック研修) 1日目 講師:鳴門教育大学 准教授 小倉 正義 氏 大阪大学 准教授 望月 直人 氏	
24日	大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会 (1回目)	
25日	近畿心療内科診療所研究会 研修	
27日	大阪府療育拠点会議 (ペアレント・メンター事業打ち合わせ)	
30日	成人期発達障がい者地域支援ネットワーク会	

8月	行	事
3日	相談支援従事者現場会議	
5日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 大阪狭山市社会福祉協議会訪問 (事前打ち合わせ)	
7日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 せんなん生活支援相談室訪問 (事前打ち合わせ)	
19日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 泉佐野・田尻町基幹相談支援センターあいと訪問 (事前打ち合わせ)	
22日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 羽曳野市 支援センターホープ訪問 (事前打ち合わせ)	
26日	ペアレント・メンター養成研修 (ベーシック研修) 2日目 講師:鳴門教育大学 准教授 小倉 正義 氏 愛知自閉症協会 理事 加藤 香織 氏	
27日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 泉大津市訪問 (基礎講座)	
28日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 富田林市 相談支援センターあーる訪問 (事前打ち合わせ)	

(内田 記)



ペアレント・トレーニングインストラクター養成研修



ペアレント・メンター啓発講座

児童発達支援部掲示板

○研修相談支援室・サポートセンターPASSO

6月	行	事
1・8日	大阪府気づき支援人材育成事業	保育士幼稚園合同講座A・B
3日	淀川区自立支援協議会	相談支援部会
5日	高槻市ペアサポート巡回相談①	如是中学校
	高槻市ペアサポート巡回相談②	阿武野小学校
12日	高槻市ペアサポート巡回相談③	城南中学校
	高槻市教育センター	自閉症理解のための連続講座②
	泉大津市立条東小学校教職員研修	
13日	PASSOくらぶ（生き物・料理・科学発見）	
19日	摂津市教育委員会	巡回相談コンサルテーション 烏飼西小学校
	摂津市教育委員会	巡回相談コンサルテーション 第二中学校
	和泉市教育委員会	巡回コンサルテーション 北松尾幼稚園
	和泉市教育委員会	巡回コンサルテーション 石尾中
22日	PASSO 保護者研修ABグループ合同研修①	
26日	豊能町教育委員会	巡回相談 吉川小学校
	高槻市教育センター	自閉症理解のための連続講座③
	和泉市教育委員会	巡回コンサルテーション 富秋中
	泉大津市教育委員会	巡回相談コンサルテーション
22・26日	いちょうの森	職員研修

7月	行	事
1日	淀川区自立支援協議会	相談支援部会
2日	大阪府社会福祉協議会	社会福祉研修センター（入所）
3日	PASSO 保護者研修ABグループ合同研修②	
	豊能町教育委員会	特別支援教育全体研修
	大阪府気づき支援人材育成事業	幼稚園演習
8日	大阪府社会福祉協議会	社会福祉研修センター（通所）
10日	大阪府気づき支援人材育成事業	保育士演習
18日	PASSOくらぶ（生き物・料理・科学発見）	
21日～	PASSO 個別評価療育終了後	随時 個別支援計画面談（3者面談）開始
23日	大阪府立泉北高等支援学校	職員研修
24日	島本町立第二小学校	校内研修
27日	泉大津市教育委員会	テーマ別研修会
30日	芝谷中学校区	合同研修会
31日	箕面市教育委員会	心の教育研修会
	高槻市夏季セミナー	特別支援教育分科会
	豊能町教育委員会	小中学校教員特別支援教育テーマ別研修

8月	行	事
5日	淀川区自立支援協議会	相談支援部会
6日	追手門学院こども園小中校	・教員全体研修会
7日	四條畷市障がい福祉課	研修会
	摂津市教育委員会	小中学校教員 テーマ別実技研修
	大阪府気づき支援人材育成事業	幼稚園研修
20～21日	高槻市教育センター	小中学校教員 テーマ別実技研修
27日	子ども発達支援センターSun	研修会
29日	児童発達支援部「たんぽぽ会」	PEP3研修・法人内部TTAP研修

(大澤 記)

○児童デイサービスセンターan

6月	行	事
9日	保護者研修Aグループ	
12日	淀川区発達障がい児等子育て支援委託事業ピアカウンセリング	
19日	保護者研修Bグループ	
20日	TEACCHプログラム研究会（職員研修）	
22・26日	淀川区発達障がい児等子育て支援委託事業ピアカウンセリング	

7月	行	事
3日	淀川区発達障がい児等子育て支援委託事業ピアカウンセリング	
7日	保護者研修Aグループ	
17日	保護者研修Bグループ	
18日	TEACCHプログラム研究会（職員研修）	
31日	淀川区発達障がい児等子育て支援委託事業親子講座	

8月	行	事
7日	淀川区発達障がい児等子育て支援委託事業ピアカウンセリング	
8～10日	自閉症支援実践報告会・はるにれの里施設見学研修	
21日	淀川区発達障がい児等子育て支援委託事業親子講座	
29日	児童発達支援部職員研修・法人内部研修	

〈淀川区 親子講座〉



○自閉症療育センターwill

6月	行	事
5日	保護者研修Aグループ	
12日	保護者研修Bグループ	
20日	TEACCHプログラム研究会（職員研修）	
29日	大阪府委託通所支援事業者育成事業	第1回圏域連絡会

7月	行	事
3日	保護者研修Aグループ	
10日	保護者研修Bグループ	
13日	大阪府委託通所支援事業者育成事業	育成事業研修
17日	実践交流会	
18日	TEACCHプログラム研究会（職員研修）	

8月	行	事
8～10日	自閉症支援実践報告会・はるにれの里施設見学研修	
29日	児童発達支援部職員研修・法人内部研修	

〈児童発達支援部職員研修・法人内部研修〉



PEP-3・TTAP 研修



新人職員によるアイスブレイク

○自閉症療育センターLink

6月	行	事
4日	第1回実践交流会	
9日～	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画	作成面談
18日	第2回保護者研修Aグループ	
20日	TEACCHプログラム研究会（職員研修）	
25日	第2回保護者研修Bグループ	

7月	行	事
2日	第2回実践交流会	
9日	第3回保護者研修Bグループ	
16日	第3回保護者研修Aグループ	
18日	TEACCHプログラム研究会（職員研修）	

8月	行	事
8～10日	自閉症支援実践報告会・はるにれの里施設見学	研修
29日	児童発達支援部職員研修・法人内部研修	

○こども発達支援センターaz

6月	行	事
1日	保護者研修会	
17日～	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画	作成面談

7月	行	事
6日	保護者研修会	

8月	行	事
29日	児童発達支援部職員研修・法人内部研修	

（谷岡 記）

ジョブサイトよど掲示板

6月	行 事
1・6・15・ 17・22・ 29日	余暇プログラム ドライブ・買い物・外食
2日	余暇プログラム 料理
4日	余暇プログラム 図書館・外食
5・19日	余暇プログラム プール・ウォーキング 十三中学校コロッケ外販
9日	余暇プログラム エアロビクス
11日	マルシェ/BBマルシェ コロッケ外販 余暇プログラム 散歩
25日	余暇プログラム お茶会
26日	余暇プログラム サッカー・セレクトランチ

7月	行 事
1・8・15・日	余暇プログラム 図書館・散歩
3・17・18・ 30日	余暇プログラム プール・ドライブ
6・13・18・ 27日	余暇プログラム 外食
11日	豊中支援学校 コロッケ外販

8月	行 事
2日	服部緑地コロッケ外販
4・18日	余暇プログラム エアロビクス
5・7・10・ 17・24日	余暇プログラム 散歩・ドライブ
6日	余暇プログラム 外食
9日	淀川区民センター 長居夏祭り コロッケ外販
12日	慰労会
19日	夕涼みマルシェ コロッケ外販 余暇プログラム カラオケ
26日	淀川/平野地区 コロッケ予約販売

(田端 記)

♠ 3月 余暇プログラム ♥



ドライブ



散歩



料理



カラオケ



お茶会

ぷれいす Be 掲示板

6月	行	事
11日	イオン高槻店で「幸せの黄色いレシートキャンペーン」参加	
14日	高槻カトリック教会にてガレット販売	
29日	大阪リハビリテーション専門学校より実習生1名受入（～8/21まで）	

見学：2件26名

7月	行	事
4日	土曜開所実施	
6日	藍野大学より実習生1名受入（～7/8まで）	
12日	高槻カトリック教会にてガレット販売	
22日	阿武野高校より職業体験として生徒3名を受入（7/22・7/27）	
27日	内部研修会（テーマ：「虐待防止について」25名参加）	
28日	「第2回杉の子研修セミナー」にてガレット販売	

見学：6件37名

8月	行	事
3日	阿武野高校より実習生1名を受入（～8/7まで）	
5日	夏休みボランティア体験プログラムとしてボランティア3名を受入（8/5・8/8・8/11・8/12）	
8日	ご利用者の健康診断を実施	
22日	土曜開所を実施	
31日	龍谷大学より実習生1名を受入（～9/10まで）	

見学：4件19名

（下 記）

♣ 土曜開所 ◆



メキシコダンス



映画鑑賞



立命館大学の学食



デザート作り



ジョブジョイントおおさか - たかつきランチ - 掲示板

6月	行	事
8日	事業所見学会（高槻）	
11日	企業見学会（良品計画）	
12日	企業見学会（にっこう社）	
15日	企業見学会（SMBC）／事業所見学会（十三）	
16日	企業見学会（廣済堂）	
17日	企業見学会（西島製作所）／職員研修（人権研修）	
20日	土曜開所日／JJOBの会	
25日	社会見学（明治製菓）	

7月	行	事
6～17日	個別懇談	
6日	事業所見学会（高槻）	
13日	事業所見学会（十三）	
18日	土曜開所（企業研究発表会）／JJOBの会／家族ミーティング	
24日	面接会直前セミナー	
30日	企業見学会（ANA）	

8月	行	事
1日	働くチカラPROJECT（発達障害学生向けサービス）	
6日	企業見学会（ANA）	
8日	土曜開所日／JJOBの会	
10日	事業所見学会（高槻）	
12～16日	夏季休業	
17日	事業所見学会（十三）	
22日	土曜開所日	

（山田 記）

◆ アウトドアクラブ(映画村) ◆



模擬職場プログラム



企業研究講座 発表会

萩の杜 家族会掲示板

6月	行	事
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加	
22日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	
28日	カトリック高槻教会にて花販売	
29日	安全対策委員会	
7月	行	事
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加	
15日	家族会会長懇談会	
24日	定例会	・施設からの報告 ・安全対策委員会報告 ・各部会報告 ・ジョブサイトひむろ移転計画説明（理事長）
26日	カトリック高槻教会にて花販売	
27日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	
29日	広報グループ、機関紙62号発送協力	
8月	行	事
2日	勉強会・互助会の運営について（写真は勉強会風景）	兵庫県の入所施設・愛心園の初代保護者会会長池田弘氏を招いて
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加	
31日	安全対策委員会	

（大橋一予 記）

互助会勉強会



ジョブサイトひむろ 家族会掲示板

6月	行	事
9日	第1回役員会（カフェ Be）	・会計報告（会費積立分の扱いなど） ・役員の役割分担 ・次回定例会（7/15）について

7月	行	事
15日	第1回定例会（高槻現代劇場206号室） 出席者 会員47名 欠席13名 来賓 中村理事長、沖本副理事長、松上常務理事、平野地域生活支援部長、森田施設長（JSひむろ）	・家族会報告 東会長より ・ジョブサイトひむろ報告 森田施設長より ・法人より現状説明 中村理事長より ・ひむろの移転について 平野部長、中村理事長、沖本副理事長、松上常務理事より ・その他 新事業への意見、連絡帳の見直し要望など
29日	広報委員会	機関誌62号発送（事務局員）

8月	行	事
5日	第2回役員会（本部会議室）	・会計報告 ・高槻ふれあいバザーについて ・次回定例会（9/15）について
19日	家族会会長懇談会（東会長出席） 後援会・臨時役員会（東会長・新田様出席）	

（加藤 記）

ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか 家族会掲示板

6月	行	事
5日	オアシスの総会で100円喫茶実施	
8日	6月役員会開催 100円喫茶実施	
19日	大阪府発達障害団体ネットワークに参加（会長、役員）	
26日	オアシスサロンで100円喫茶実施	
7月	行	事
6日	勉強会「大阪府の状況」オアシスと共催 100円喫茶実施 大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか山川センター長 7月役員会開催 100円喫茶実施	
10日	オアシスの役員会で100円喫茶実施	
13日	十三市に参加	
15日	家族会会長懇談会に参加（会長）	
27日	7月定例会・勉強会「防犯について」淀川区警察署生活安全課 100円喫茶実施	
28日	北摂杉の子会研修セミナーに参加	
8月	行	事
3日	オアシス役員会で100円喫茶実施 8月役員会開催 100円喫茶実施	
19日	家族会会長懇談会に参加（会長） 北摂杉の子会後援会の役員会に参加（会長）	
26日	理事長と語ろう会（こかんご十三東店）	

（福田 記）



アクトおおさか山川センター長の講演



淀川区警察署生活安全課による勉強会

ぶれいす Be 家族会掲示板

6月	行 事
8日	参観&ランチ（第一回）担当役員（田中、北川）参加者7名
11日	役員会（ぶれいす Be 会議室）（出席者：施設長を含め10名） 審議報告事項 ・家族会名簿の再配布 ・家族会用パソコンの買い替え（現在のものは起動に時間がかかり、会議中に書類の訂正が完了できない） ・「フォレスト」見学会の企画と準備 ・第一回参観&ランチの報告 ・掲示板原稿の確認
30日	「生活支援総合施設『フォレスト』（わかさ郡家ホーム）」見学会 担当役員（山田）参加者：26名 ランチ参加者：15名

7月	行 事
9日	役員会（ぶれいす Be 会議室）（出席者：施設長を含めて11名） 審議報告事項 ・行事の報告（施設見学会） ・父親の会の企画と案内文書の作成 ・「Be どうし」の原稿の確認 ・家族会用パソコンの購入（11万6千円） ・「定例会」の進め方：「ヒヤリハット」に関する年次報告を「ぶれいす Be リスクマネジメント委員会」委員長の木戸副施設長より受ける
15日	参観&ランチ（第二回）担当役員（西山）、参加者：7名
23日	コーラスグループ「コールつばさ」練習会（今城塚公民館）

8月	行 事
7日	役員会（ぶれいす Be 役員会）（出席者：施設長を含め10名） 審議報告事項 ・行事の報告（第二回参観&ランチ） ・定例会の準備日程 ・下半期の活動計画
19日	家族会会長懇談会（出席者：厚東） 北摂杉の子会後援会臨時役員会（出席者：厚東）
20日	コーラスグループ「コールつばさ」練習会（今城塚公民館）
29日	父親の会（第8回）、カフェ Be 参加者8名（施設長・講師の小林さんを含む） 「からだを＜効果的に＞動かす」をテーマに、小林哲理さん（作業療法士・杉の子会医療連携推進室長）をお招きしてお話を伺う

（厚東 記）

自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス掲示板

6月	行	事
1日	6月役員会	
5日	平成27年度オアシス総会	会員総数134名、出席者13名、委任状73名、合計86名、会則20条により5分の2以上の出席をもって成立。 平成26年度事業報告、平成26年度収支報告・監査報告、平成27年度役員・監事・顧問選任、平成27年度事業計画案、平成27年度収支予算案、すべての議案について議場に諮り満場異議なく承認された。 来賓 北摂杉の子会理事長 中村節史 氏 北摂杉の子会常務理事 松上利男 氏 顧問 梅花女子大学 心理こども学部心理学科教授 新澤伸子 氏 北摂杉の子会 児童発達支援部部長 谷岡とし子 氏
17日	ホットメールなにわ会合（会長、相談役出席）	
19日	大阪府発達障害団体ネットワーク会（会長、副会長出席）	
26日	オアシスサロン	

7月	行	事
6日	アクトおおさか 山川秀雄センター長による勉強会	ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会との共催
10日	7月役員会	
12日	就労体験「いるか通信」発送のお手伝いと軽作業（ジョブサイトよどにて）	ボランティアご協力 梅花女子大学、大阪人間科学大学、関西福祉科学大学 ペアレントメンター啓発講座 参加
18日	おやじの会（大阪自閉症協会との共催）	
20日	親子交流会 さをり織り体験	ペアレントメンター養成研修（ベーシック）4名参加

8月	行	事
3日	8月役員会	
26日	ペアレントメンター養成研修（ベーシック）4名参加	
30日	調理実習（お好み焼き、フルーツポンチ）	食材の買い物から調理・食事まで学生ボランティアと一緒に活動 ボランティアご協力 梅花女子大学、大阪人間科学大学、関西福祉科学大学、大阪樟蔭女子大学

（坂地 記）



さをり織り



調理実習



オアシス総会

北摂杉の子会 後援会掲示板

本会の活動に対して萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会、ぶれいすBeの家族会の皆様を含めて多くの方々にご支援をいただき、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます

<会員数の推移>

6月 個人会員：453名、団体会員：20団体
合計：473名／団体 寄付：なし

7月 個人会員：453名、団体会員：20団体
合計：473名／団体 寄付：2件

8月 個人会員：455名、団体会員：20団体
合計：475名／団体 寄付：なし

(2015年8月末までの新規会員)

個人会員：12名、団体会員：なし 合計：12名

<報告事項>

- 1) 今年度の8月末までに8件、111,000円の寄付、688,000円の会費、合わせて799,000円の資金を頂きました。
ご協力ありがとうございます
- 2) 2015年8月19日（水）に臨時役員会を開催
 - 2015年4月～2015年7月までの経過報告
個人会員：453名、団体会員：20団体、
②寄付：8件、③資金：約82.9万円
(会費納入率は個人：40%、団体：40%)
 - 法人HP中の後援会の部分も改訂中
 - 個人、団体会員の方々への会費納入のお願い、会費納入方法などについて協議

(棚山 記)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで。もしくは同封の振込用紙をご利用ください。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円



郵便振込口座北摂杉の子会
00920-8-90859



(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会 理事 中村節史
口座番号：5085555



～ 皆様の温かいご支援に感謝いたします ～

□ 法人へのご寄附に感謝いたします。(平成27年6月1日～平成27年8月31日)

野田康史 河端良一 中村節史 福田啓子 真野利之 伊藤雅子 村井尚子 川浪スエ子 棚山薫晴 須藤真理子
吉田秀一 森田恭子 山岡真実 匿名希望

□ 後援会入会と会費納入(平成27年5月25日～平成27年8月21日)

片岡厚子 梁 恵子 塩野高志 黒澤和子 平林征男 西田公子 池田美保子 長谷川ひろみ 関 隆志 関 典子
角谷慶子 金子 学 鈴木孝雄 降幡 聡 真野利之 中村豪史 田中由紀子 出口幸平 森田 弘 篠原琴美
中村節史 中村悦子 中村哲史 森田豊子 森田俊博 森田靖紀 森田和成 副島雄彦 白水光男 丹藤優香
丹藤舞香 窪田富佐子 高原和子 高原秀介 高原伸兒 尾木 豊 戸田純子 北海道療育園 岡田喜篤
株式会社 東テストパル

□ 後援会への寄付(平成27年6月1日～平成27年7月31日)

真野利之 林 秀郎

□ 家族会へのご寄附に感謝いたします。(平成27年6月1日～平成27年7月31日)

池田 弘 田口容子 植松芳哲 本田英世

□ 物品のご提供に感謝いたします。(平成27年6月1日～平成27年7月31日)

不二園芸 藤岡紀子 月岡 滝本

□ ボランティアに感謝いたします。(平成27年6月1日～平成27年7月31日)

坂井恵美子 佐々木映世

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 中村 節史

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1

発行日 2015年10月10日

定価100円

施設住所一覧

- **社会福祉法人北摂杉の子会 法人本部事務所**
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
[E-mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com
- **知的障害者生活施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
[E-mail] haginomori@suginokokai.com
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**
(短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
[E-mail] breath@suginokokai.com
- **グループホーム とんだ** (共同生活援助)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **グループホーム みやた** (共同生活援助)
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室
- **レジデンスなさはら** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- **ジョブサイトひむろ**
(生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
[E-mail] himuro@suginokokai.com
- **高槻地域生活総合支援センター ぶれいすBe**
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
[E-mail] placebe@suginokokai.com
〈短期入所〉TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
[E-mail] andante@suginokokai.com
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**
(発達障害者支援センター事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-3003 FAX (06)6100-3004
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- **研修相談支援室**
(法人独自の公益事業〈検査・相談・研修・本人支援・講師派遣〉)
- **サポートセンターPASSO**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL&FAX (06)4862-5454
[E-mail] passo@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **児童デイサービスセンター an**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015
[E-mail] an@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **自閉症療育センター will**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
[E-mail] will@suginokokai.com
- **こども相談支援センター wish**
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
[E-mail] wish@suginokokai.com
- **自閉症療育センター Link**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
[E-mail] link@suginokokai.com
- **こども発達支援センター az**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒558-0003 大阪市住吉区長居2丁目4-1 サンテ長居1F
TEL (06)6654-8777 FAX (06)6654-8780
- **ジョブサイトよど** (生活介護・就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
[E-mail] yodo@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか たかつきブランチ**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **法人自主製品店舗**
よどのクロック
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目10番10号
TEL (06)6306-4096
営業時間: 11:00~18:30(土・日・祝定休)
※14:00~15:00 休憩
[LaLa-chocolat (ララ ショコラ) TAKATSUKI]
就労継続支援B型
〒569-0091 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081
営業時間: 10:00~19:00(日・祝休み)

※■は行政よりの委託事業